

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		子どもの読書活動推進講座実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明		
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名	青木 正代		
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	図書館班	(内線)	1540		
					法令根拠	子どもの読書活動推進に関する法律				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	11	
		1	10	5	8	10600			コスト削減優先度評価結果	6*35
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		16	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		～ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
<p>【事業の内容】年3回の講座を開催。第1回目:お父さんお母さんのための読み聞かせ塾(小中学校・保育園等の保護者を中心に参加者を募集) 第2回目:あかちゃんのための読み聞かせ講座(0歳児から1歳児とその保護者等の参加者を募集) 第3回目:あかちゃん講座(実技・講話)並びに読み聞かせボランティアさん対象の意見交換会(0歳児のあかちゃんとその保護者等、あかちゃんのおはなし会に関心がある者、保育士などの参加者を募集)</p> <p>【業務の流れ】講師依頼・参加者募集のチラシ作成及び配布・申込受付・資料作成・会場設営・講座当日の進行・結果報告・謝金支払事務</p> <p>【主な予算費目】職員手当等(時間外勤務手当)、報償費(講師謝金)</p>										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 0歳児から子育て中のお父さんお母さん、祖父母、子育てに関わっておられるボランティア、保育士などを対象に参加者を募集、20年度同様に講師に依頼し、3回の講座を計画する。
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 第1回目:お父さんお母さんのための読み聞かせ塾(小中学校・保育園等の保護者を中心に参加者を募集、参加者48人) 第2回目:あかちゃんのための読み聞かせ講座(0歳児から1歳児とその保護者等の参加者を募集、参加者43人) 第3回:あかちゃん講座(実技・講話)並びに読み聞かせボランティアさん対象の意見交換会(0歳児のあかちゃんとその保護者等、あかちゃんのおはなし会に関心がある者、保育士などの参加者を募集、参加者53人)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回 ⇒ イ 開催回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 家庭、学校・幼稚園・保育園関係者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ⇒ イ PTA数(幼・小・中・保育園)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 保護者等が子ども時代の読書の意義を学び、積極的に子どもの豊かな心を育むようにする。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 ⇒ イ 講座参加者数
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守っている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 地域 ⇒ イ 子育て支援応援事業所数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	30	42	30	43	30	30	
	(A)事業費計	千円	30	42	30	43	30	30		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円				13				
	人件費									
正規職員従事人数	人	2	2	2	3	3	3	3		
延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30	30		
(B)人件費計	千円	119	119	119	119	119	119	119		
トータルコスト(A)+(B)	千円	149	161	149	162	149	149	149		
活動指標	回	3	3	3	3	3	3	3	目 標 合 計 値 画  22 年 度	
対象指標	人	7179	7311	7434	7364	7425	7425	7425		
成果指標	人	147	137	140	144	145	150	150		
上位成果指標		348	350	350	351	355	360	40		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
子どもの読書活動推進法が平成13年12月に制定され、各自治体での読書活動の推進が義務づけられた。平成16年度から実施している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
対象者及びその内容については、社会情勢や住民のニーズを捉えて企画している。その結果、年々参加者が増加している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
事業対象者から大変評価を得て、今後、事業対象者範囲の拡大が望まれている。

事務事業名	子どもの読書活動推進講座実施事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 子育て支援日本一の市を目指す合志市において、子どもたちに対し心豊かな心身ともに健康な成長を促す事業を実施することは重要なことである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 子ども読書活動推進法に則った事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 子どもの成長に関わるのは保護者だめではない、人的環境であるより多くの人々に本事業の対象を拡大させる必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 時代の要求を先駆けて捉えた内容の事業であるので、反響は大変よかった。・幼保小中学校のPTAとの連携により事業を実施したのは、図書館と学校・家庭をつなぐ意味で意義があった。 ・今後は、対象範囲を広げより参加しやすい状況を作る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、家庭の教育力の低下という現状がある昨今においてこの事業を実施することは非常に有効であり、廃止・休止は市民にとり不利益につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の目的(対象と意図)を持つ事業が他にない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率的 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 講座はボランティア養成にもつながる内容であり、費用対効果の点でも効率的である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要経費は講師料であるが、魅力ある講座内容と集客率を考えると、講師の知名度も肝心な要因である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 図書館法により無料の原則に則って運営している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…日曜日に実施することで母親だけでなく父親の参加が増えた。 ③効率的性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 子どもの成長に関わる多くの人々に対し、役に立つ教育的情報提供ができるような的確な内容のものを実施する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )